平幕では、稽古総見での強さそのまま鬼ヶ嶽と若佑が力強い相撲をみせた。中盤まで勝ち込んでいくと上位との対戦も考えられ、さらに場所は盛り上がることだろう。

鬼ヶ嶽○（寄り切り）●佐賀海

西　旭●（寄り切り）○若　佑

先場所8勝して初の技能賞を受賞して自己最高位の前頭筆頭に躍進した香具山部屋の夢ノ花は「上位に勝って三役昇進だ！」と香具山親方の意気込みも空しく3連敗のスタートとなった。四日目以降の相撲に期待したい。

若　柱○（寄り切り）●鳥海波

先場所3人とも揃って負け越して後がない番付まで落ちた霧ヶ浜三羽烏の若佑、若巨、若柱だが、若佑と若柱が3連勝、若巨も2勝1敗と好スタートを切った。今場所の台風の目となるのか、注目したい。

今場所の新入幕は、駒波（朝日松部屋）、蛮国（富士浪部屋）、西旭（春日根部屋）の3人。とりわけ駒波は現理事長の元大関初代綱乃花が承継した新生朝日松部屋になって初の幕内力士。

部屋としてなかなか有望力士が出なかっただけに駒波に対する朝日松理事長の期待も大きい。

剣　将●（寄り切り）○駒　波

十両は桃乃洲らが3連勝

先場所優勝の西旭が幕内に上がり、今場所優勝候補の筆頭と見られるのが先場所も優勝争いをした同部屋の大石丸。初日こそ葵盛に敗れたが二、三日目は安定した相撲で白星をあげ2勝1敗とまずまずのスタート。春日根部屋2場所連続の優勝で新入幕を目指す。

大石丸○（押し倒し）●逆馬山

対抗と見られるのは約7年振りの十両での土俵となる英筏。実績と実力から言えば優勝の最右翼に挙げられるところだが、如何せん精彩を欠く場所が続いている。そこで再起を期して場所前には春日根部屋に稽古に出向き、まわしも新調し心機一転しての今場所。

英　筏○（引き落し）●櫻吹雪

初日と三日目はともに引き落としで勝ったものの「勝つには勝ったけどねー」と鹿賀乃戸親方も内容的にはいま一つ。四日目以降納得のいく力強い取り口を取り戻せるか期待したいところだ。

先場所で引退するはずだった玄武岩が一転、現役続行を決め何と2勝を上げ白星先行とした。本人も十両でならまだ通用すると感じたに違いない。先場所よりも動きも良くなった感じで幕内復帰に向け息を吹き返す可能性もありそうだ。

また、蛮国は名門富士浪部屋として、139回の夏雄大以来、実に222場所（9年）振りの嬉しい幕内力士復活となった。ともに2勝1敗とまずまずのスタートを切った。（錦風）

若　巨●（上手投げ）○蛮　国

昇進を争う上位陣で3連勝発進としたのは一場所での返り咲きをかける桃乃洲。二日目若雲山とは2回の取り直しからしぶとく白星を掴み取った。このまま白星を上乗せして石川在住の桃山親方に朗報を届けたい。

他に3連勝としたのは葵盛、柏陵山、虎ノ國の下位陣。葵盛は初日に大石丸から白星を掴み、3日間とも左差しから寄り切る安定した相撲を見せた。悲願の幕内昇進を目標に番付を戻せるか見どころとなりそう。

そして何故か鹿賀乃戸親方が素質を買っているのが柏陵山。先場所は十両尻まで落ちて何とか残留を決めたが、今場所も油断は禁物である。

かつての左差しの相撲はまるで見られなくなったが、こうなれば右攻め一辺倒に徹して一度ぐらいは優勝争いに食い込む活躍を見せてほしいが…。

今場所十三枚目まで番付を下げてしまった鵺乃里は調子が戻らず3連敗と黄色信号が点滅。後ろにあと一枚しかない位置での出遅れは避けたかったが、中盤戦に向けて何とか盛り返していきたい。そして旅篭錦と逆起の若手も3連敗と出鼻をくじかれる苦しいスタートとなった。

初日に再十両同士の対決となった椿富士対茅ヶ崎。ともに今度こそはと十両定着を狙う両者は、椿富士が茅ヶ崎得意ののど輪を掻い潜って逆に右から押し倒しで仕留め2勝1敗でまずは3日間を乗り切った。（山里）

椿富士●（押し出し）○柏陵山

葵　盛○（寄り切り）●逆　起

桃乃洲○（押し倒し）●西勢里

横綱総見開催される

本場所開催直前の1月6日、横綱総見が開催された。横綱審議会の強い要請もあって休場予定の若ノ嶋、春ノ翔も参加。

また春場所で大関昇進の可能性がある4関脇も加わり、幕内38力士全員と胸を合わせることとなった。

総見会場には在京の親方衆が詰めかけ、熱い取り組みに目を輝かせていた。

総見の成績は次の通り。やはり千代鈴、大神楽の実力は他を抜きんでており、春場所の優勝争いはこの2人を中心に展開するものと思われる。

関脇陣では綱乃花と西神門が好調。上位陣直接対決でも五分以上の結果を出し、優勝そして大関昇進の可能性も十分伺わせた。

小結以下の力士は横綱大関関脇の計8力士と対戦したことになるが、中でも鬼ヶ嶽と若佑が6勝2敗と上位陣を圧倒する相撲を見せた。本場所の台風の目となりそうだ。（鹿）

横綱	千代鈴	3勝4敗	3勝（6勝1敗）
〃	若ノ嶋	2勝8敗	9敗（3勝4敗）
〃	春ノ翔	4勝13敗	5敗（2勝5敗）
大関	大神楽	2勝3勝	5敗（6勝1敗）
関脇	四季嶋	3勝14敗	3勝4敗）
〃	綱乃花	1勝16敗	（4勝3敗）
〃	鉄　甲	1勝26敗	（0勝7敗）
〃	西神門	0勝7敗	（4勝3敗）

※（　）内は上位陣直接対決の成績

※　小結以下の好成績力士

鬼ヶ嶽	6勝	2敗
若　佑	6勝	2敗
鹿富士	4勝	4敗
宇治家	3勝	5敗
磯自慢	3勝	5敗
剣将	3勝	5敗
駒　波	3勝	5敗